

環境活動レポート

2023年度

活動期間 2023年7月～2024年6月

- I 事業活動の概要
- II 実施体制
- III 環境方針
- IV 主な環境負荷の実績
- V 環境目標及びその実績
- VI 2022年度の環境活動の評価
- VII 環境活動の取り組み項目と評価
- VIII 環境関連法規関係等の順守状況
- IX 2023年度の環境活動計画
- X 代表者による全体の評価と見直し指示



株式会社 尾 崎 組

2024年 9月 27日発行

I 事業活動の概要

1 事業所名及び代表者名

株式会社 尾崎組

代表取締役 尾崎 貢

2 所在地

静岡県伊豆の国市長崎167-3

TEL 055-949-0038

FAX 055-949-0702



3 環境管理責任者

代表取締役 尾崎 貢 TEL 055-949-0038

4 事業内容

総合建設業（土木・建築工事）

5 会社の沿革

昭和34年 創業

昭和50年7月 法人設立

平成9年3月 産業廃棄物収集運搬業許可(自社運搬のみ)

平成10年5月 エコアクション21認証登録

6 事業の規模

資本金 20百万円

従業員 14名

売上高 102.14百万円

事務所延べ床面積 87.45m²



7 事業年度

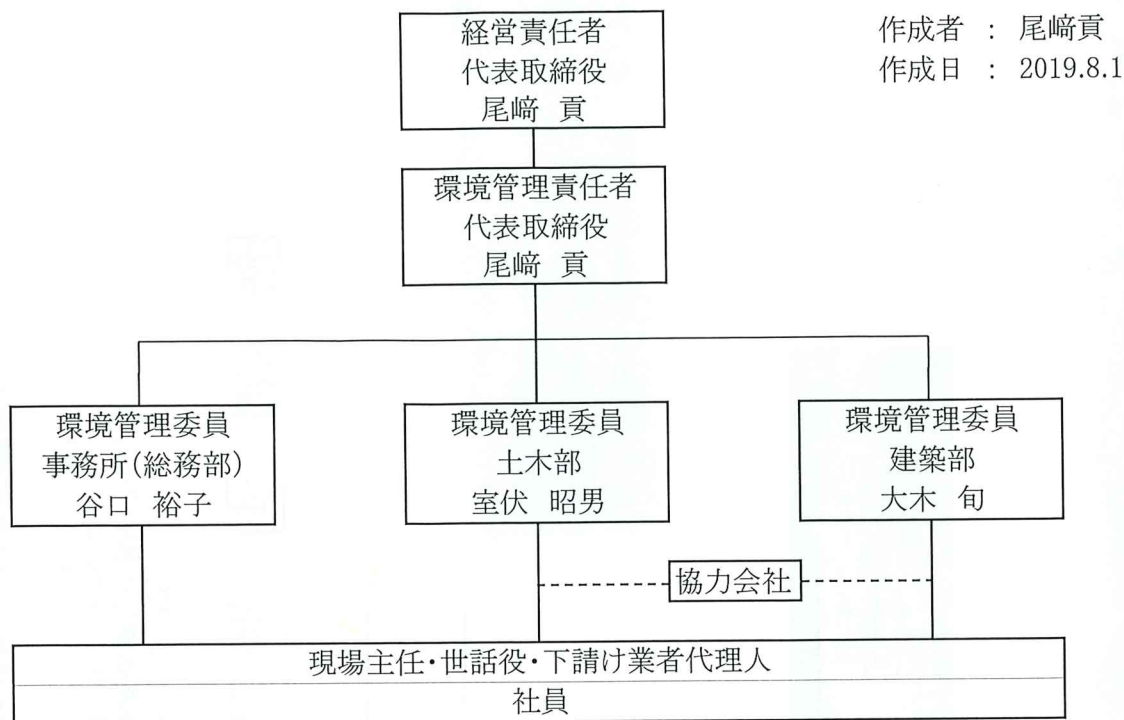
7月1日～翌年6月30日

8 認証・登録の対象範囲

活動:建設業(土木、建築、大工、とび・土工、石、舗装、管、水道施設、解体
しゅんせつ、防水、内装仕上)

対象組織:本社、資材置き場)

Ⅱ 実施体制



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ① 環境経営全般に対する責任と権限
- ② 環境方針の作成と社員への周知
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 実施体制の構築
- ⑤ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
- ⑥ 全体の評価と見直し

環境管理責任者

- ① 環境経営活動の推進
- ② 環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③ 環境経営推進会議の実施
- ④ 経営者への進捗報告

環境管理委員

- ① 各部門のデータのまとめ
- ② 環境経営計画の予実績管理
- ③ 環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④ 環境管理責任者補佐
- ⑤ 環境関連法規等最新版管理
- ⑥ 文書・記録の管理

各部門

- ① 環境経営計画の実施
- ② 月別部門データの集計・報告
- ③ 問題点の把握と是正の実施
- ④ 推進会議の出席
- ⑤ 従業員教育



Ⅲ 環境方針

【基本理念】

当社は、土木建築業者として これまでに得た経験・知識・技術をもとに よりよい地球環境の保全とその継承の重要性を認識し会社及び従業員とともに 環境経営の継続的改善をはかりその循環型社会の構築に貢献する。

1 環境方針

- ① 環境負荷削減のために 省資源・省エネルギー、リサイクル、水資源の節約を推進し特に二酸化炭素排出量、廃棄物排出量の削減に努める。
- ② 環境関連法規、条例、その他の規制を順守する。
- ③ 工事現場において 河川の汚濁防止・粉塵・騒音防止・動植物の環境保全等を推進する。
- ④ 行政機関・各種団体等の環境保全施策に協力し、積極的に参加することにより、よりよい環境の構築に貢献する。
- ⑤ 環境教育・訓練等の実施により、すべての従業員に環境方針の周知徹底を行う。
- ⑥ 上記方針の達成のために、目標を設定し定期的に見直し、環境改善活動を推進する。

2 行動指針

- ① 電力の消費に伴う二酸化炭素の排出量の削減
- ② 燃料の消費に伴う二酸化炭素の排出量の削減
- ③ 産業廃棄物の削減、再使用、再生材の利用促進
- ④ 水資源の節約
- ⑤ 環境に配慮した材料・工法の推進
- ⑥ 地域の環境保全活動への参加
- ⑦ 環境関連法規等の遵守
- ⑧ 環境方針を全従業員及び関連下請け業者に周知し、社外に公表する。

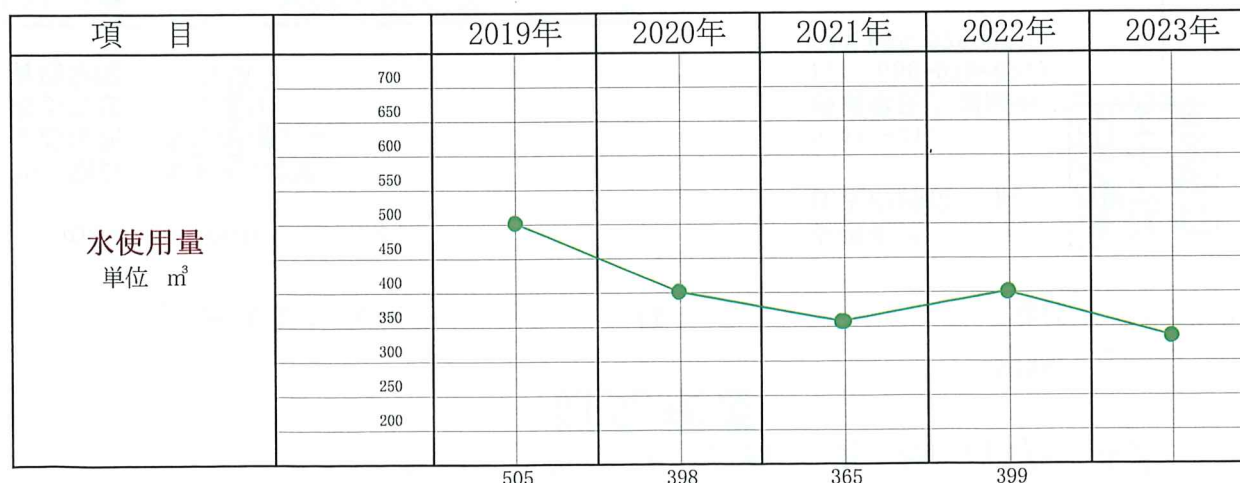
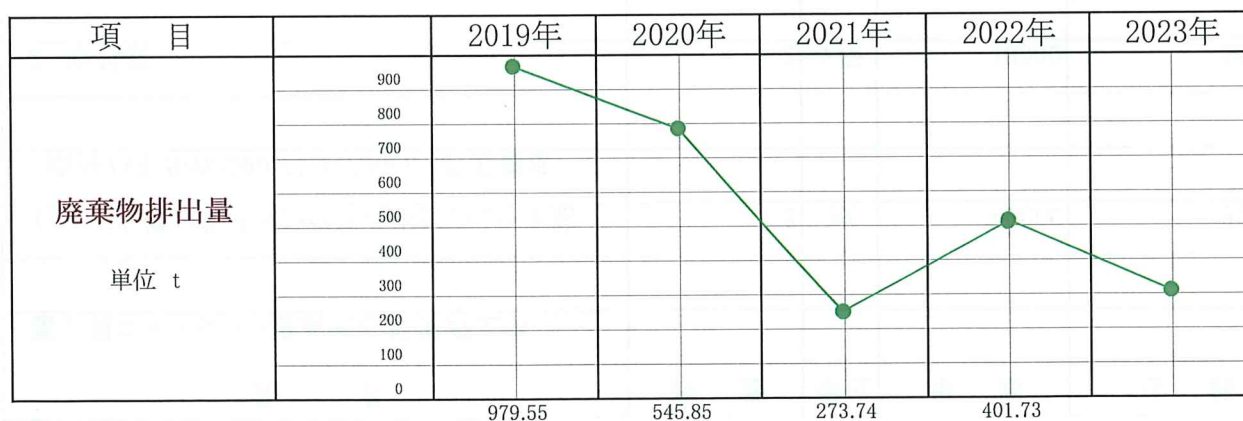
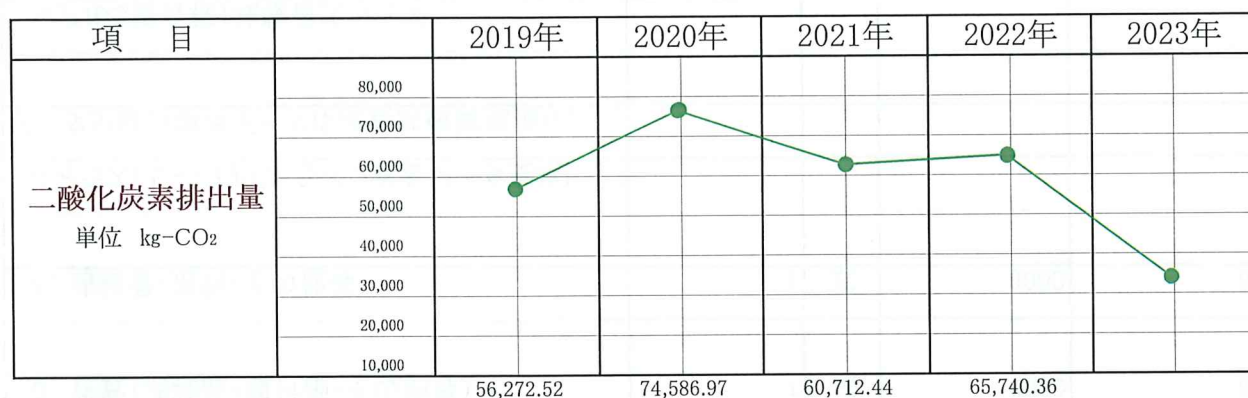
制定日 2009年 8月24日
2022年 2月24日 一部改訂
代表取締役 尾崎 貢



IV 主な環境負荷の実績

項 目		単 位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	電 力	kg-CO ₂	27,454.88	31,575.60	3,860.43
	化石燃料		33,257.56	34,164.76	29,975.30
	計		60,712.44	65,740.36	33,835.73
廃棄物排出量	一般	t	0.52	0.52	0.50
	産 業		273.22	401.21	314.56
	計		273.74	401.73	315.06
水使用量		m ³	365.00	399.00	340.00
売上高		百万円	138.89	210.68	102.14

環境負荷の実績(5年間) 2009年よりエコアクション21を実施



V 環境目標及びその実績

当社における2020年～2022年年度の平均値を基準とし、2023年度～2025年度までの環境目標値を 下記のように改定した。

項 目	単位	目標達成		基準値 ※過去3年 間の平均値	2024年度 目 標	2025年度 目 標	2026年度 目 標
		2023年度 目 標	2023年度 実 績				
		2023年7月～ 2024年6月	2023年7月～ 2024年6月				
電力の削減 (事務所+現場)	kg-CO ₂	31,842.7	3,860.43	20,963.6	20,754.0	20,546.5	20,341.0
	kWh	64,378.7	8,734.0	44,155.7	43,714.1	43,277.0	42,844.2
	増減率	-1%	-87.9%		-1%	-1%	-1%
軽油の削減 建設現場 (工事高千円当たり)	kg-CO ₂	0.1166	0.1703	0.1425	0.1411	0.1397	0.1383
	ℓ	0.0452	0.0660	0.0553	0.0547	0.0542	0.0536
	増減率	-1%	46.1%		-1%	-1%	-1%
ガソリンの削減 建設現場 (工事高千円当たり)	kg-CO ₂	0.0450	0.0870	0.0633	0.0627	0.0620	0.0614
	ℓ	0.0194	0.0380	0.0274	0.0272	0.0269	0.0266
	増減率	-1%	93.3%		-1%	-1%	-1%
車両の燃費の向上 (1台当たりの平均)	km/ℓ	11.33	11.02	11.073	11.184	11.30	11.41
	増減率	1%	-2.8%		1%	1%	1%
廃棄物(現場)の削減 (工事高千円当たり)	kg	1.9903	3.0796	2.3170	2.2938	2.2709	2.2482
	増減率	-1%	54.7%		-1%	-1%	-1%
リサイクル率の向上 (現場)	%	97.53	98.5	98.10	98.20	98.30	98.39
	増減率	0.1%	1.0%		0.1%	0.1%	0.1%
水使用量削減 (事務所)	m ³	383	340	368	364	361	357
	増減率	-1%	-11.2%		-1%	-1%	-1%
環境配慮工法	件	5		2	5	6	7
地域貢献	件	7		3	7	8	9

* 電力の排出係数は 2019年度東京電力 0.442(kg-CO₂/kwh)

軽油の削減の実績(5年間)

項 目		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
土木現場 工事高千円当たり kg-CO ₂	0.2						
	0.1						
	0.0						

ガソリンの削減の実績(5年間)

項 目		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
土木・建築現場 工事高千円当たり kg-CO ₂	0.2						
	0.1						
	0.0						

車両燃費向上の実績(5年間)

項 目		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
km/ℓ	11.0						
	10.0						
	9.0						
	8.0						

<目標達成>

電力の削減

リサイクル率の向上

水使用量削減

<未達成>

軽油の削減	原因	工事現場が遠方だったため、車両の燃費消費が増大した。
	是正	現場への荷物運搬の無駄をなくす。
ガソリンの削減	原因	同上
	是正	同上
車両の燃費の向上	原因	車両の使用年数が年々増大している。
	是正	不必要な荷物の積載をしないようにする。
廃棄物(現場)の削減	原因	受注した工事内容が廃棄物を廃棄する工事が含まれていた。
	是正	工事現場において分別を行ない、廃棄物を少なくする。

VI 2023年度の環境活動の評価

環境活動評価表

(2023年7月～2024年6月)

継続期間 <—>

重点期間 <==>

作成者 尾崎 貢

評価日 2024.9.27

NO.	環 境 目 標	実施事項	実施部門 責任者	2023年												評価 良 ○ 改善 △
				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
1	電気使用量の削減 (Co2の削減) 【目標】 電気使用量 基準値比 1%削減	① 夜間は主電源を切る ② 空調の温度管理(20℃・28℃の設定) ③ 未使用時の消灯の徹底 ④ 残業時間の削減の検討	事務所 谷口 裕子	<—			夜間は主電源を切る									○
				<—	28℃温度管理期間				20℃温度管理期間							○
				<—			未使用時の消灯の徹底									○
				<—			残業時間の削減検討									○
2	燃料使用量の削減(軽油) (Co2の削減) 【目標】 軽油使用量 基準値比 1%削減	① アイドリングストップの徹底 ② 無駄な材料を積載しない ③ 排ガス規制重機を使用 ④ 燃料消費率の調査	建設現場 室伏 昭男	<—				アイドリングストップの徹底								○
				<—				必要数量の確認を徹底								○
				<—				使用する重機の排ガス規制の確認								○
				<—				車両の毎月の消費燃料と走行距離を調査								○
3	燃料使用量の削減(ガソリン) (Co2の削減) 【目標】 ガソリン使用量 基準値比 1%削減	① アイドリングストップの徹底 ② 無駄な材料を積載しない ③ 機器の効率的な使用 ④ 燃料消費率の調査	建設現場 室伏 昭男	<—				アイドリングストップの徹底								○
				<—				必要数量の確認を徹底								○
				<—				各現場における機器の使用状況の確認								○
				<—				車両の毎月の消費燃料と走行距離を調査								○
4	廃棄物の削減及びリサイクル化 【目標】 総廃棄物量 基準値比 1%削減 リサイクル率 基準値比 0.1%向上	① 裏紙使用の徹底 ② 資材の有効利用によるスクラップの削減 ③ 廃棄物の分別の徹底 ④ リサイクル可能廃棄物の調査と処理 会社の調査	建設現場 室伏 昭男	<—				裏紙使用の徹底・使用書類内容の確認								○
				<—				資材の有効利用・各現場の使用資材の確認								○
				<—				廃棄物の分別方法の徹底								○
				<—				廃棄物処理会社の確認と調査								△
5	水使用量の削減 【目標】 月間水資源使用量 基準値比 1%削減	① 現場における各職の節水の徹底 ② 使用時の垂れ流しの防止	事務所・現場 尾崎 貢	<—				現場にて各職に節水を徹底								○
				<—				給水使用時の垂れ流しの防止								○
6	環境配慮施工の促進 【目標】 環境配慮施工数 基準値比 1%向上	① 環境にやさしい材料を使用する ② リサイクル素材を活用する ③ 現場周囲の環境整備への協力	事務所・現場 尾崎 貢	<—				各現場の材料決定時に関係者と材料仕様を打ち合わせする								○
				<—				カタログ等にて各メーカーのリサイクル素材の有無を確認する								△
				<—				近隣住民とのコミュニケーションをはかり 環境整備に協力する								○

VII 環境活動の取組み項目と評価

2023年7月～2024年6月

環境活動取組み項目		取組みの評価	
事務所	・夜間は主電源を切る	○	
	・不要時 休憩時の消灯	○	
	・空調の温度管理	△	※高温の日が続き、温度設定を下げた
	・OA機器の不使用时電源を切る	○	
	・裏紙使用の徹底	○	
土木・建築現場	・無駄な材料を積載しない	○	
	・排ガス規制重機の使用	○	
	・機器の効率的な使用	○	
	・資材の有効利用によるスクラップの削減	○	
	・環境にやさしい材料を使用する。	△	※材料のメーカーが多く、把握しきれない
	・現場周囲の環境整備への協力	○	
	・地域の緊急事態時の応援	○	
共通事項	・アイドリングストップの徹底	○	
	・急発進 急加速の抑制	○	
	・廃棄物分別の徹底	△	※一部現場において不十分
	・リサイクル可能廃棄物及び処理会社の調査	○	
	・節水の徹底	○	
	・漏水有無の点検	○	
	・リサイクル素材を使用する	△	※使用材料のリサイクル材の有無の確認

・評価欄は 実施できたものは ○ できないものは × 徹底できなかったものは △

VIII 環境関連法規関係等の順守状況

当社に関係する主な環境関連法規制は、次のとおりです。

※○か×で評価

適用される法規制	適用される主な内容	適用される施設・機器	評価
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理 処理委託基準の順守 マニフェストの管理義務 廃棄物の削減	紙屑・木屑・カン・ビン プラスチック類 コンクリート殻・アスコン殻等	○
騒音規制法	規制基準の順守 特定建設作業実施の届け出	バックホウ・コンプレッサー 削岩機・ハントブレーカー等	○
振動規制法	規制基準の順守	バックホウ 削岩機・ハントブレーカー等	○
建設リサイクル法	再資源化の実施 記録の作成	紙屑・木屑・カン・ビン コンクリート殻・アスコン殻等	○
自動車リサイクル法	廃車の適正処理	自動車	○
家電リサイクル法 改正リサイクル法	指定家電の適正廃棄処理	テレビ・冷蔵庫・洗濯機 エアコン・パソコン	○
フロン排出抑制法	簡易点検(3か月に1回以上) 廃棄時 許可業者への委託 証明書の受取と保管	建設重機のエアコン 業務用エアコン	○
浄化槽法	浄化槽の清掃・点検 法定検査の実施	浄化槽・合併浄化槽	○
消防法	法定保管容器の使用	混合油・ガソリン 軽油	○
グリーン購入法	環境物品の購入促進	コピー用紙・コピー機・照明器具 自動車・シート・作業服・エアコン	○

< 静岡県条例 第10条 >

廃棄物の適正な処理	委託先の実施確認と記録の 保存	実地確認(年1回) 記録の保管(5年間)	○
-----------	--------------------	-------------------------	---

※優良認定業者に委託した場合実地確認を要しない

- ・ 関連法規制の順守評価を行った結果、違反はありません。
- ・ 周辺住民からの苦情、訴訟もありません。

順守確認期間
順守確認日
確認者

2023年7月～2024年6月
2024年9月27日
尾崎 貢

IX 2024年度の環境活動計画

環境活動計画表

(2024年7月～2025年6月)

継続期間 <----->

重点期間 <====>

作成日 2024.6
作成者 尾崎 貢

NO.	環 境 目 標	実施事項	実施部門 責任者	2024年						2025年					
				7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1	電気使用量の削減 (Co2の削減) 【目標】 電気使用量 基準値比 1%削減	① 夜間は主電源を切る ② 空調の温度管理(20℃・28℃の設定) ③ 未使用時の消灯の徹底 ④ 残業時間の削減の検討	事務所 谷口 裕子	<----->			夜間は主電源を切る								>----->
					28℃温度管理期間				20℃温度管理期間						
				<----->			未使用時の消灯の徹底								>----->
				<----->			残業時間の削減検討								>----->
2	燃料使用量の削減(軽油) (Co2の削減) 【目標】 軽油使用量 基準値比 1%削減	① アイドリングストップの徹底 ② 無駄な材料を積載しない ③ 排ガス規制重機を使用 ④ 燃料消費率の調査	建設現場 室伏 昭男	<----->				アイドリングストップの徹底							>----->
				<----->				必要数量の確認を徹底							>----->
				<----->				使用する重機の排ガス規制の確認							>----->
				<----->				車両の毎月の消費燃料と走行距離を調査							>----->
3	燃料使用量の削減(ガソリン) (Co2の削減) 【目標】 ガソリン使用量 基準値比 1%削減	① アイドリングストップの徹底 ② 無駄な材料を積載しない ③ 機器の効率的な使用 ④ 燃料消費率の調査	建設現場 室伏 昭男	<----->				アイドリングストップの徹底							>----->
				<----->				必要数量の確認を徹底							>----->
				<----->				各現場における機器の使用状況の確認							>----->
				<----->				車両の毎月の消費燃料と走行距離を調査							>----->
4	廃棄物の削減及びリサイクル化 【目標】 総廃棄物量 基準値比 1%削減 リサイクル率 基準値比 0.1%向上	① 裏紙使用の徹底 ② 資材の有効利用によるスクラップの削減 ③ 廃棄物の分別の徹底 ④ リサイクル可能廃棄物の調査と処理 会社の調査	建設現場 室伏 昭男	<----->				裏紙使用の徹底・使用書類内容の確認							>----->
				<----->				資材の有効利用・各現場の使用資材の確認							>----->
				<----->				廃棄物の分別方法の徹底							>----->
				<----->				廃棄物処理会社の確認と調査							>----->
5	水使用量の削減 【目標】 月間水資源使用量 基準値比 1%削減	① 現場における各職の節水の徹底 ② 使用時の垂れ流しの防止	事務所・現場 尾崎 貢	<----->				現場にて各職に節水を徹底							>----->
				<----->				給水使用時の垂れ流しの防止							>----->
6	環境配慮施工の促進 【目標】 環境配慮施工数 基準値比 1%向上	① 環境にやさしい材料を使用する ② リサイクル素材を活用する ③ 現場周囲の環境整備への協力	事務所・現場 尾崎 貢	<----->				各現場の材料決定時に関係者と材料仕様を打ち合わせする							>----->
				<----->				カタログ等にて各メーカーのリサイクル素材の有無を確認する							>----->
				<----->				近隣住民とのコミュニケーションをはかり 環境整備に協力する							>----->

活動写真



全体会議

漏水点検



浄化槽点検



X 代表者による全体の評価と見直し指示

<見直し関連情報>

項目		確認(必要に応じて評価・コメント記載)
1	エコアクション21文書	☒ 継続して作成する
2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 一部目標達成できず、達成に努力する
3	環境経営計画及び取組実施状況	☒ 計画に継続して取り組む
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 特に問題なし
5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 継続して行なう
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 特に問題なし
7	取引先・業界・関係行政関係、その他の外部動向	☒ 継続して行なう
8	その他()	☐

<代表者による全体評価>

今年度は遠方の工事現場が多く、車両に使用するガソリン・軽油等の消費量が増大した。

一方、河川工事の受注が無かったため、水替え用のポンプ等の使用が無く、電力の消費が減少した。

また、一部解体物等が工事現場にあり、廃棄物が増大した。

来年度も受注した工事により、燃料や電気(動力)等の使用量が大きく変化することが考えられるので、使用する機器の選定に注意するように各現場責任者に指示し、環境活動に取り組むこととした。

2024年9月27日

株式会社 尾崎組

代表取締役 尾崎 貢

<代表者による見直し指示>

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	
2	環境経営目標	有 ☒ 無	
3	環境経営計画	有 ☒ 無	
4	環境に関する組織(実施体制含め)	有 ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有 ☒ 無	